

交通事故発生状況（平成30年7月末現在）

1 交通事故発生状況

(1) 全国及び管内各県の死者数

区分	死者数	増減数	増減率
全国	1,883	-106	-5.3%
管区計	274	+9	+3.4%
富山	29	+8	+38.1%
石川	19	-1	-5.0%
福井	15	-9	-37.5%
岐阜	51	+6	+13.3%
愛知	109	+3	+2.8%
三重	51	+2	+4.1%

(2) 県下の交通事故発生状況

区分	人身件数	死者数	負傷者数
平成30年	2,786	51	3,662
平成29年	3,258	45	4,230
増減数	-472	+6	-568
増減率	-14.5%	+13.3%	-13.4%

注：平成30年の人身件数・負傷者数は日報による概数

(3) 月別死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平成30年	11	7	6	4	7	9	7	—	—	—	—	—
平成29年	5	6	4	10	4	8	8	10	7	5	6	2
増減数	+6	+1	+2	-6	+3	+1	-1	—	—	—	—	—

(4) ブロック別の死者数

区分	岐阜	西濃	中濃	東濃	飛驒	高速隊
平成30年	20	12	4	5	4	6
平成29年	15	7	8	8	5	2
増減数	+5	+5	-4	-3	-1	+4

【平成年間の死者数推移】

年別	元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
7月末	122	145	112	145	132	131	142	129	147	150	108	134	113	114	94	115	74	85	85	74	65	71	48	64	73	55	58	53	45	51
年間	247	272	246	263	236	239	268	219	251	249	202	222	224	203	186	194	157	155	164	141	125	133	102	121	125	93	106	90	75	…

2 死亡事故(51件、51人)の特徴

死亡事故は51件51人発生し、前年より6件6人増加している。全国での岐阜県の位置(ワースト順位)は、死者数13位、増減数7位、増減率10位。

(1) 高齢者の死者が5割強(前年比-2人)

高齢者の死者が28人で前年より2人減少し、全死者(51人)の54.9%を占める。このうち歩行者が12人で4割強を占め、特に横断歩行者が9人(横断歩道横断中3人)と目立つ。

(2) 国道及び市町村道での事故がそれぞれ約4割

国道(高速含む)・市町村道での事故がそれぞれ20件で全事故(51件)の39.2%を占める。

国道での事故は前年より5件増加し、特に単独事故が6件、正面衝突・対歩行者事故がそれぞれ3件と目立つ。また、市町村道での事故は前年より4件増加し、特に対歩行者事故が8件、単独事故が6件と目立つ。

(3) 歩行者の死者が約3割(前年比+6人)

歩行者の死者が14人で前年より6人増加し、全死者の28.0%を占める。このうち横断歩行者が10人で、特に横断歩道横断中が4人と目立つ。また、高齢歩行者が12人、夜間事故が9人と目立つ。

- カーブでの事故が20件(前年比+3件)で、このうち単独事故が10件。
- 女性運転者事故が14件(前年比+8件)で、このうち昼間に9件。
- 交差点での事故が13件(前年比+2件)で、このうち信号交差点が8件。
- 二輪車乗用中の死者が9人(前年比+5人)で、このうち単独事故での死者が5人。

《参考》

- 高齢運転者事故は13件で全運転者事故の27.1%。(前年16件:43.2%)
- 若年運転者事故は4件で全運転者事故の8.3%。(前年5件:13.5%)
- 女性運転者事故は14件で全運転者事故の29.2%。(前年6件:16.2%)
- 飲酒関係事故は2件2人(前年:5件5人)
- シートベルト非着用者が7人で、このうち5人はシートベルトを着用していれば死亡には至らなかったと思われる。

3 「30日死者」(24時間を経過し30日以内に死亡した者)

※7月末現在で死亡を確認したもの

30日死者は3人で前年より1人減少。歩行者(40代)、自転車(60代)、自動車運転中(60代)がそれぞれ1人である。

《参考》

年別	S23	S24	S25	S26	S27	S45
年間	79	81	82	90	92	317

※ S23は現行の統計制度開始。S45は死者数のピーク